

# ソーシャルフットボール

(全障スポ・オープン)

## 競技説明

競技名はイタリアの取り組み、calciosociale (英訳: social football) に由来します。これは、年齢、性別、人種、障がいなどのあらゆる違いを超えて、社会連帯を目指したフットボール文化のことです。

ソーシャルフットボールは、精神障がい者の方が取り組まれるスポーツで、世界大会が開催されています。

とにかく攻守の切り替えが早い競技。エキサイティングな試合展開が繰り広げられ、ハーフラインを超えたあたりから、ロングシュートを打つ選手がいたり、キーパーがフィールドプレイに出ていく、パワープレイも見どころです。

## ルール

基本ルールはフットサルと同じです。

最大の違いはコートに立つ人数。基本は5vs5で行いますが、女性選手が出場する場合は最大6人まで、コートに立つことができます。(女性選手が2人でも最大6人チームです。)試合時間は前後半12分ずつで、休憩時間は5分。オフサイドはありません。ボールがタッチラインから出た場合は、フリースローではなくキックインで再開します。

障がいの程度による、クラス分けもなく、得失点差で勝敗が決まります。